

【主な出来事】

- 民主党、ACUM、共産党、社会党、ショール党が議会選挙候補者登録を行った。
- 世銀によるモルドバの2019年の経済成長予測は3.8%。

1. 内政

議会選挙

▼ACUM、小選挙区候補者リストを公表

・2日、ACUMの小選挙区候補者リストが公表された。サンドゥ「行動と連帯」党(PAS)党首は在外の欧州地区に出馬する。ナスターセ「尊厳と真実」党(DA)党首はキシニョフ郊外地区から出馬する。

▼選挙結果予測

・2日、ACUMの小選挙区候補者リスト公表を受けて民間データ会社が発表した選挙結果予測は次のとおり。

	合計議席数	比例区	小選挙区
社会党	45	21	24
ACUM	24	14	10
民主党	20	9	11
ショール党	5	3	2
共産党	3	3	0
我らの党	1	0	1
自由党	1	0	1
無所属	2	0	2

▼共産党、比例区候補者リストを公表

・3日、議会選挙における共産党の比例区候補者リストが公表された。同リスト第一位はボローニン同党首となっているが、その後の順序はアルファベット順となっている。

▼ショール党、中央選挙委員会に候補者を登録

・9日、ショール党が中央選挙委員会に候補者登録を行った。

▼在外投票の有権者登録手続き終了

・10日、在外投票の有権者登録が終了した。約24,500人が登録した。登録が多かったのが、イタリア、英国、ルーマニア、独、仏、米、加。右登録結果に基づいて投票所の数や場所が決定される。

▼民間団体 Promo-LEX 選挙監視レポート

- ・10日、民間団体 Promo-LEX が選挙監視レポート12/1～1/8を発表。主な内容は次のとおり。
- ・8日までに4つの政党(選挙ブロックを含む)が登録を完了した(民主党、ACUM、共産党、社会党)。比例区では40%の女性比率は確認されたが、その多くはリストの20番目以降にランクされている。小選挙区ではいずれの政党も40%の女性比率が達成されていない。
- ・公金を使用した事案が少なくとも10件あったとされている(民主党7件、ショール党2件、我らの党1件)。大統領

領が社会党候補者の応援に関与している。

・選挙活動のような行為もしくは贈物は約280件確認された。うち35%が贈物(社会党42件、ショール党41件、民主党17件)。チャリティ組織の Din Suflet(社会党系)及び Miron Shor(ショール党系)の関与が確認された。

その他

▼ACUM、国民投票には投票しないよう国民に求める

・10日、ACUMは2月24日の議会選挙と同時に行われる国民投票は違法なポピュリスト・イニシアティブであり、無視するよう国民に求めるメッセージを発送した。

2. 外政

▼フィリップ首相、ルーマニアのEU議長就任に祝意

・4日、フィリップ首相はダンチラ・ルーマニア首相に書簡を送り、EU議長国となったことに祝意を表した。フィリップ首相は、ルーマニアのEU議長就任がモルドバ・EU関係の進展に繋がることへの期待を込めた。

3. 経済

▼世銀の2019年経済予測

・9日、世銀の2019年経済予測が発表され、モルドバの経済成長率は3.8%になるとの見通しが示された(2018年は4.8%)。トルコ経済の落ち込みやロシア経済の成長停滞に引きずられる形で東欧全体の経済成長が低く抑えられると説明した。

▼2018年1月～9月の外国諸機関に対する負債

・9日、2018年1月～9月の外国諸機関に対する負債額に関する国家統計局のデータが明らかになった。最も大きな負債は国際開発協会(IDA)の627百万ドル、次いでIMF281百万ドル、欧州投資銀行214百万ドル、世銀90百万ドル、EBRD68百万ドル、IFAD67百万ドル、欧州評議会開発銀行33百万ドルとなっている。

▼ウクライナ経由ロシアへ輸出されるモルドバ製品へ悪影響

・11日、経済省によれば、ウクライナに課されているロシアの経済制裁によって、ウクライナ経由でロシアへ輸出されるモルドバ製品に輸出ができないなどの悪影響が出ているとのこと。

▼2018年のロシア産天然ガスの供給量増加

・14日、2018年におけるロシア産天然ガスのモルドバ(トランスニストリアを含む)への供給量が2,939百万立方メートルとなり、前年比8.6%の伸び。

▼2018年1～11月までの外国貿易状況

- ・国家統計局によれば、2018年1～11月のモルドバの輸出総額は2,487.9百万USD(前年同期比13.5%増)、輸入総額は5,244.8百万USD(同比20.3%増)、貿易収支赤字額は2,756.9百万USD。
- ・輸出の内訳は、食品・家畜22.5%、輸送機器類21.7%、石油を除く原材料品10.1%、飲料・たばこ8.1%、その他製造品22.9%。
- ・輸出先は、EU1,726.1百万USD(69.4%、同比19.9%増)、CIS386.4百万USD(15.5%、同比9.7%減)。中国向けは17.3百万USDで同比2.1%の伸び。
- ・輸入の内訳は、輸送機器22.3%、原産品由来製品(皮革製品、木製品、ゴム製品等)20.8%、鉱物燃料(石炭、石油等)15.7%、化学製品等15.0%、食品・家畜10.4%、その他製造品10.7%。
- ・輸入元は、EU2,614.2百万USD(49.8%、同比20.5%増)、CIS1,299.4百万USD(24.8%、同比20.1%増)。中国からは549.6百万USDで同比21.7%の伸び、トルコからは307.5百万USDで同比12.5%の伸び。
- ・対日輸出は、1.5百万USD(同比48%増)、日本からの輸入は、49.5百万USD(同比48%増)。

▼2018年の財政赤字

- ・15日、調査機関AGORAによれば、2018年のモルドバの国家赤字が230億モルドバレイ(約1,353百万USD)に上ることになった。

4. トランスニストリア

▼イグナチェフ「外相」、モスクワ代表部の開設を表明

- ・10日、イグナチェフ・トランスニストリア「外相」は、1月にモスクワにトランスニストリア代表部(representation)を開設する旨を発表した。モスクワには既に事務所(office)は開設されている。

▼イタリアOMPグループがトランスニストリアに投資

- ・15日、イタリアOMPグループによれば、トランスニストリアに3～4ヶ月中に50人規模の溶接ワイヤ製造工場を立ち上げる。投資額は3.2百万ユーロ。雇用数を300人まで増やす予定。

5. その他の情勢

ガガウズ自治区

▼トルコ、競技場建設に10百万ドル融資

- ・11日、トルコ協力調整庁の融資によりコムラトに新しい競技場の建設が開始されることが明らかとなった。融資額は10百万ユーロ。本件はガガウズ自治区代表団のトルコ公式訪問時にトルコ青年・スポーツ大臣との会談時に合意された。

6. 各種統計

▼2018年民主主義指数でモルドバは世界第79位

- ・9日、エコノミック・インテリジェンス・ユニットによる2018年の民主主義指数が発表され、モルドバは世界第79位にランクされた(昨年と変わらず)。

(了)